

2010年 第12回 医療法人植田泌尿器科医院  
治験審査委員会 会議の記録の概要

【開催日時】2010年 12月 20日（月曜日） 19:00～20:00

【開催場所】ハynesホテル久留米 5階 宝満の間  
福岡県久留米市天神町 1-6  
0942-32-7211

【出席者】出席者数 8名 / (9名)

氏名	職業資格及び所属	出欠	備考
山下 拓郎	医師 / 医療法人山下泌尿器科医院 院長	出席	委員長
荒木 靖三	医師 / 特定医療法人社団高野会くるめ病院 院長	出席	副委員長
和智 公一	弁護士 / 和智法律事務所	出席	
山本 晶弘	薬剤師 / 有限会社AKIメディカル ほのぼの薬局	出席	
荒瀬 陽一	歯科医師 / 医療法人徳祐会やまさき歯科	出席	
田中 二三郎	医師 / 医療法人正優会天神田中内科医院 院長	出席	
出田 一夫	医療法人恒生堂永田整形外科病院 事務局長	欠席	
武藤 邦弘	医師 / 医療法人武藤クリニック 院長	出席	
島袋 智子	看護師 / 医療法人植田泌尿器科医院	出席	

## 1. 迅速審査の報告

なし

## 2. 審議事項

議 題	武田薬品工業株式会社の依頼による高トリグリセライド血症患者を対象とした TAK - 085 の第 相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：3 施設	
審 議 内 容	当該治験薬に関する新たな安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
結 果	承認	当該審議について、審議参加委員全員一致で、承認された。

議 題	エーザイ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたアダリムマブ (D2E7) の第 / 相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：1 施設 治験の継続の適否：1 施設	
審 議 内 容	当該治験薬に関する副作用情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。	
結 果	承認	当該審議について、審議参加委員全員一致で、承認された。

議 題	大塚製薬株式会社の依頼による大うつ病性障害患者を対象とした OPC-14597 (アリピプラゾール) の第 相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：3 施設 治験薬概要書及び追補の改訂：3 施設 新聞折り込みチラシのデザイン変更：3 施設	
審 議 内 容	当該治験薬に関する副作用情報及び措置報告、当該治験薬の長期投与試験における治験薬包装不良に関するお知らせに関し、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験薬概要書及び追補の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 新聞折り込みチラシのデザイン変更について、その使用に関し問題ないか審議した。	
結 果	承認	当該審議について、審議参加委員全員一致で、承認された。

議 題	大塚製薬株式会社の依頼による大うつ病性障害患者を対象とした OPC-14597 (アリピプラゾール) の第 相試験 (長期投与試験)	
審 議 事 項	安全性に関する報告：2 施設	

	治験薬概要書及び追補の改訂：2施設	
審議内容	当該治験薬に関する副作用情報及び措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験薬概要書及び追補の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
結果	承認	当該審議について、審議参加委員全員一致で、承認された。

議題	大日本住友製薬株式会社の依頼による2型糖尿病患者を対象としたSMP-508（ピグアナイド系薬剤併用）の第相試験	
審議事項	安全性に関する報告：5施設	
審議内容	当該治験薬に関する新たな安全性情報に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。	
結果	承認	当該審議について、審議参加委員全員一致で、承認された。

議題	大日本住友製薬株式会社の依頼による2型糖尿病患者を対象としたSMP-508（ピグアナイド系薬剤併用）の第相試験（長期投与試験）	
審議事項	安全性に関する報告：5施設	
審議内容	当該治験薬に関する新たな安全性情報に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。	
結果	承認	当該審議について、審議参加委員全員一致で、承認された。

議題	大日本住友製薬株式会社の依頼による2型糖尿病患者を対象としたSMP-508（チアゾリジン系薬剤併用）の第相試験	
審議事項	安全性に関する報告：4施設	
審議内容	当該治験薬に関する新たな安全性情報に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。	
結果	承認	当該審議について、審議参加委員全員一致で、承認された。

議題	大日本住友製薬株式会社の依頼による2型糖尿病患者を対象としたSMP-508（チアゾリジン系薬剤併用）の第相試験（長期投与試験）	
審議事項	安全性に関する報告：4施設	
審議内容	当該治験薬に関する新たな安全性情報に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。	
結果	承認	当該審議について、審議参加委員全員一致で、承認された。

議 題	ヤンセン ファーマ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした CNT0148 の第 相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：1 施設 治験薬概要書補遺の追加：1 施設 同意説明文書の変更：1 施設 治験実施体制の変更：1 施設	
審 議 内 容	当該治験薬に関する副作用情報(国内・外国)、措置報告及び定期報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 追加作成された治験薬概要書補遺に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 同意説明文書の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験実施体制の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
結 果	承認	当該審議について、審議参加委員全員一致で、承認された。

議 題	ファイザー株式会社の依頼による大うつ病性障害の日本人成人患者を対象とした DVS SR の第 相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：2 施設	
審 議 内 容	当該治験薬に関する新たな安全性情報及び定期報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
結 果	承認	当該審議について、審議参加委員全員一致で、承認された。

議 題	グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による大うつ病性障害患者を対象とした 323U66 SR の第 、 相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：5 施設 治験実施計画書及び別添の変更：5 施設	
審 議 内 容	当該治験薬に関する新たな安全性情報及び研究報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験実施計画書及び別添の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
結 果	承認	当該審議について、審議参加委員全員一致で、承認された。

### 3. 終了報告（開発中止報告）

議 題	味の素製薬株式会社の依頼による前期第 相試験	
報 告 事 項	終了報告：1 施設	

内 容	終了報告書に基づき、治験が無事終了したことを確認した。
-----	-----------------------------

議 題	グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼によるパキシル錠の児童・青年期大うつ病性障害に対する製造販売後臨床試験
報 告 事 項	開発中止報告：2施設
内 容	開発中止に関する報告書に基づき、治験が中止となったことを確認した。